

### エックス線装置に関する構造設備概要書

1 エックス線装置の台数、製作者名及び型式

台 数		
製 作 者 名		
型 式		
製 造 年 月 日	年 月 日	年 月 日
装 置 の タ イ プ	固定式 (移動不可)・固定式 (移動可能) ポータブル	固定式 (移動不可)・固定式 (移動可能) ポータブル
主 な 用 途	撮影・透視・その他 ( )	撮影・透視・その他 ( )
設 置 時 の 状 態	新品 ・ 中古品	新品 ・ 中古品
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日

2 エックス線高電圧発生装置の定格出力

区 分	管 電 圧	管 電 流	撮 影 時 間	管 電 圧	管 電 流	撮 影 時 間
長 時 間 定 格	kv	mA	—	kv	mA	—
短 時 間 定 格	kv	mAs	—	kv	mAs	—
コンデンサ式 (型式: )	kv	mA	Sec	kv	mA	Sec
	kv	μ F	—	kv	μ F	—

3 エックス線装置及びエックス線診療室の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

(1) エックス線装置の放射線障害の防止に関する構造設備の概要

ア エックス線装置の共通事項

照 射 筒	有 ・ 無	有 ・ 無
照射野の絞り装置	円形・矩形・その他 ( )	円形・矩形・その他 ( )
エックス線管容器 及び照射筒の漏れ 放射線量	接触可能表面から 5cm の距離 m(μ)Gy/時間 線管の焦点から 1m の距離 mGy/時間	接触可能表面から 5cm の距離 m(μ)Gy/時間 線管の焦点から 1m の距離 mGy/時間
総 ろ 過 量	mm アルミニウム当量	mm アルミニウム当量

イ 透視用エックス線装置

透視時間積算及び 警告音付タイマー	有 ・ 無	有 ・ 無
利用線すい可動絞り 装置	円形・矩形・その他 ( )	円形・矩形・その他 ( )
透視用画像モニター の種類	蛍光板、イメージインテンシファイア その他 ( )	蛍光板、イメージインテンシファイア その他 ( )
受像器の接触可能表面 の放射線量	受像器の接触表面から 10cm の距離 μ Gy/時間 以下	受像器の接触表面から 10cm の距離 μ Gy/時間 以下
透視の最大受像面の 3cm 超の接触可能 表面の放射線量	受像器の接触表面から 10cm の距離 μ Gy/時間 以下	受像器の接触表面から 10cm の距離 μ Gy/時間 以下
被照射体周囲の散乱 線防護手段	有 ・ 無	有 ・ 無

ウ 撮影用엑クス線装置

利用線すい可能絞り装置	有 ・ 無	有 ・ 無
照射野の直径(口内法撮影用X線装置の場合)	有 ・ 無	有 ・ 無
移動型、携帯型並びに手術中に使用する엑クス線装置で엑クス線管焦点及び被照射体から2m以上離れて操作できる構造	有 ・ 無 延長コード式・無線式	有 ・ 無 延長コード式・無線式

エ 治療用엑クス線装置

インターロック機能付る過板保持装置	有 ・ 無	有 ・ 無
-------------------	-------	-------

(2) 엑クス線診療室の放射線障害の防止に関する構造設備の概要

1週間の延べ撮影回数		回数	1週間の延べ透視時間		時間	
診療施設の構造等		独立家屋( 階建て)、マンション又はアパート等の集合住宅( 階建て 階)耐火構造( )、木造、木造モルタル又はプレブ、その他( )				
엑クス線診療室の概要	形態	엑クス線診療専用の室、診療室と兼用の室、手術室と兼用の室その他( )				
	操作室	有 ・ 無				
診療室のしゃへい物の概要	区分	材料	厚さ	放射線防護に関する措置		
	天井					
	床					
	(周囲のしゃへい物を含む)	東側				
		西側				
		南側				
	北側					
	出入口の扉					
診療室の壁等の外側における最大放射線量		엑クス線診療専用の室 엑クス線診療兼用の室		$\mu\text{Sv}/\text{W}$ 以下 $\mu\text{Sv}/\text{H}$ 以下		
標識の有無		有 ・ 無	注意事項の揭示		有 ・ 無	

(3) 엑クス線診療室における放射線障害の防止に関する予防措置の概要

管理区域	管理区域の境界における最大放射線量	実効線量 $\text{mSv}/3\text{月以下}$
	立入り制限措置	しゃへい物(材質等 )による区画、白線による区画その他( )
	標識の有無	有 ・ 無
敷地内の居住区域及び敷地内の境界	人が居住する区域における最大放射線量	実効線量 $\mu\text{Sv}/3\text{月以下}$
	敷地の境界における最大放射線量	実効線量 $\mu\text{Sv}/3\text{月以下}$

その他	エックス線診療室の見取図	(別添 )
	エックス線装置を使用する室のしゃへい物等の配置状況	(別添 )

(4) その他の放射線障害の防止に関する予防措置の概要

防護用具の保有状況	防護手袋 ( 対)、防護プロン ( 人分)、ネックガード ( 個) 防護メガネ ( 個)、その他 ( )
エックス線従事者等の放射線測定器の保有状況	ポケット線量計 ( 個)、熱平衡線量計 ( 個) ガラスバッジ ( 個)、その他 (名称 数量 個)
線量測定方法	実測 ・ 計算
実測測定器名	
その他の措置 (健康診断等)	

4 エックス線診療に従事する獣医師の氏名及びエックス線診療に関する経歴

氏名	エックス線診療に関する経歴 (従事年数、研修受講状況等)

[注意事項]

- 1 エックス線診療室の平面図及び側面図を添付すること。
- 2 エックス線診療室の平面図及び側面図は、照射方向、発生管の中心から天井、床及び周囲の画壁の外側までの距離 (メートル) 並びに防護物の材料及び厚さを記入した縮図とすること。
- 3 エックス線診療室の平面図及び側面図中には、管理区域の標識等の位置を記入すること。
- 4 エックス線診療に関する経歴欄には、獣医師がエックス線診療に携わった場所、従事期間及び研修受講状況等を記入すること。